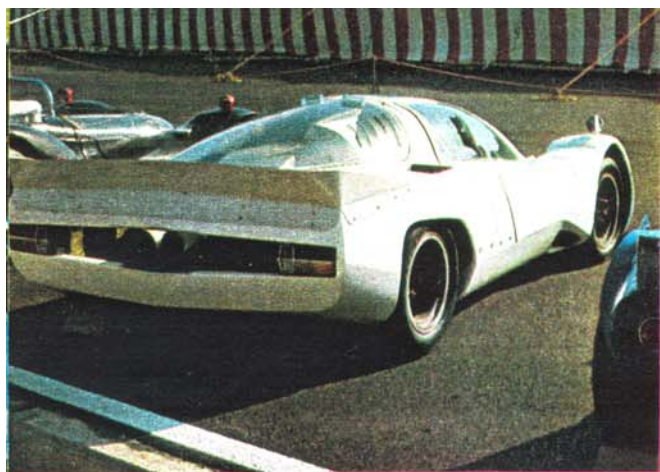
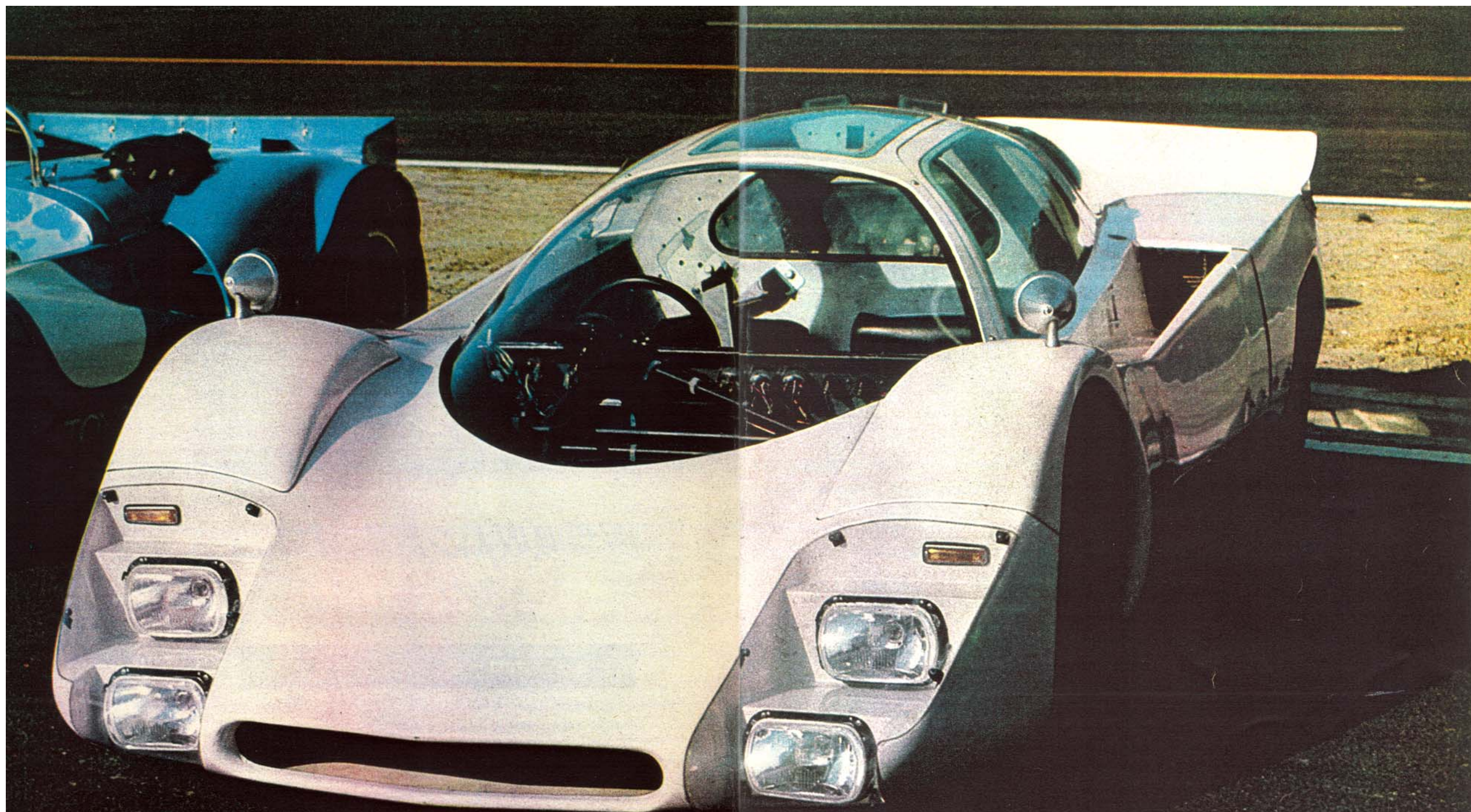




グループ6に改良された  
ニュー・トヨタ7





全長5.24キロというヤマハ発動機の新テスト・コース。そこを一台の白色の新型マシンが疾駆する。2月10日のことである。トヨタのエース・ドライバー福沢幸雄が不慮の事故死を遂げた前々日だ。

2000GTの開発以来、レースに対するトヨタの姿勢は積極的だ。昨年は2000GTを全米選手権に送り、春の日本GPにはプロトモデル「トヨタ7(セブン)」を発表した。そして今年は……正式なエントリーの発

表をみるまでは推測の域をでないが、ル・マン24時間に出場するといううわさが、かなりの信頼性をもって流れている。

このマシンがトヨタ7のニュー・タイプであることはあえて説明を要しない。ただしテクニカル・データはスペース・フレームを使ったボディがP・ブロックのデザインによるものだ——ということ以外、今のところは厚いヴェールに包まれたままだ。興味ぶかいの

は従来のトヨタ7がグループ7に属したオープン型であるのに対して、このニュー・タイプはクローズド型そしてストリート・モデルに近い型をしているということだ。搭載エンジンが同じ3リッターなら明らかにグループ6のスポーツ・プロトであり、うわさに高いル・マン出場の話とこれは一致する。それにしても新型マシンの完成をみながら、トヨタはまた惜しいドライバーを1人亡くしてしまった。